

◆平成 30 年度以前入学生

○人間社会学部 福祉心理学科 高等学校教諭（福祉）一種免許状取得に関する科目

科目区分	授業科目	単位数		
		必修	選択	自由
免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目	○憲法・人権論		2	
	○健康科学		2	
	○健康スポーツ（実技）		1	
	○TOEIC 入門	1		
	○TOEIC 指導	1		
	○情報処理の基礎	2		
	○情報処理演習Ⅰ（表計算）	1		
教職に関する科目	○教育職研究			2
	○教育原理			2
	○子どもの発達と学習			2
	思春期行動論			2
	○教育社会学			2
	○教育課程論			2
	○福祉科教育法			4
	○特別活動の研究			2
	○教育方法の研究			2
	○生徒指導の研究			2
	○カウンセリング論		2	
	○進路指導の研究			2
	○教職実践演習（高）			2
	○教育実習指導			1
○教育実習			2	
教科に関する科目	○社会福祉学概論Ⅰ		2	
	○社会福祉学概論Ⅱ		2	
	○高齢者福祉論Ⅰ		2	
	○生活支援技術		2	
	○児童・家庭福祉論Ⅰ		2	
	○児童・家庭福祉論Ⅱ		2	
	○障害者福祉論Ⅰ		2	
	○障害者福祉論Ⅱ		2	
	○相談援助総論Ⅰ		2	
	○相談援助総論Ⅱ		2	
	○相談援助各論Ⅰ		2	
	○相談援助各論Ⅱ		2	
	○相談援助各論Ⅲ		2	
	○相談援助各論Ⅳ		2	
	社会福祉援助技術演習Ⅰ		2	
	社会福祉援助技術演習Ⅱ		2	
	社会福祉援助技術演習Ⅲ		1	
	○社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ		1	
	○社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ		1	
	○社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ		1	
	○社会福祉援助技術現場実習指導Ⅳ		1	
	○社会福祉援助技術現場実習		4	
	○医学概論Ⅰ		2	
	○医学概論Ⅱ		2	
	○心身機能の理解と生活支援		2	
	○介護概論		2	

【注 1】 ○印は免許状を取得する場合の必修科目です。

【注 2】 自由科目は卒業単位にカウントされませんので、注意して下さい。

○人間健康学部 看護学科 養護教諭の免許状取得に関する科目

「養護教諭一種免許状」(以下、「養教一種免」という。)[「養護教諭二種免許状」(以下、「養教二種免」という。)]を取得するためには、表①のように教育職員免許法等で規定された「資格」と「修得単位」を必要とします。

また、教育職員免許法施行規則第 66 条 6 に定める科目は、付表 A のとおりです。

表① 基礎資格及び修得すべき単位

免許の種類	基礎資格	最低修得単位数			
		教育職員免許法施行規則第 66 条 6 に定める科目	教職に関する科目	教科に関する科目	教科または教職に関する科目
養教二種免	保健師	8 単位 (付表 A)	/		
養教一種免	学士の称号を有する	8 単位 (付表 A)	21 単位以上 (付表 B)	28 単位以上 (付表 C)	7 単位以上 (付表 D)

付表 A (教育職員免許法施行規則第 66 条 6 に定める科目)

科目	修得単位数	修得方法
日本国憲法	2	「憲法・人権論」(1 年前期・2 単位・必修)を必ず修得すること。
体 育	2	「健康スポーツ」(1 年前期・2 単位・選択)を必ず修得すること。
外国語コミュニケーション	2	「エッセンシャルイングリッシュ」(1 年前期・1 単位・必修)、「アドバンストイングリッシュ」(1 年後期・1 単位・必修)を修得すること。
情報機器の操作	2	「情報処理演習」(1 年後期・1 単位・必修)は必ず修得すること。残り 1 単位は「情報処理の基礎」(1 年前期・2 単位・選択)「インターネットの使い方」(2 年前期・1 単位・選択)のうちから 1 科目を修得すること。

教育職員免許法等で規定された「教職に関する科目」「教科に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」の単位の修得方法は、表②のとおりです。

表② 単位の修得方法

免許の種類	科目の区分	取得方法
養教一種免	教職に関する科目	付表 B により修得すること
	教科に関する科目	付表 C により修得すること
	教科又は教職に関する科目	付表 D により修得すること

付表B 教職に関する科目 \*卒業単位には含まれません

科目の区分	授業科目名	単位数	開講時期	備考
教職の意義等に関する科目	教育職研究*	2	1年前期	
教育の基礎理論に関する科目	教育原理*	2	1～2年前期	
	教育社会学*	2	2年後期	
	子どもの発達と学習	2	2年後期	
教育課程に関する科目	教育課程論*	2	1年後期	
	教育方法の研究*	2	2年前期	
	特別活動の研究*	2	1～2年後期	
生徒指導及び教育相談に関する科目	生徒指導の研究*	2	2～3年前期	
	コミュニケーション論 (カウンセリングを含む)	2	1年後期	
養護実習	養護実習指導*	1	3年前・後期	
	養護実習*	4	3年前期	
教職実践演習	教職実践演習(養護教諭)*	2	4年後期	

付表C 「養護」の教科に関する科目

○選択科目であるが必ず修得すること

科目の区分	授業科目名	開講時期	必修単位	選択単位	最低修得単位数
衛生学及び公衆衛生学 (予防医学を含む)	公衆衛生学	2年前期	2		4
	保健統計	2年後期	2		
学校保健	学校保健	3年前期		②	2
養護概説	養護概論	2年後期		②	2
健康相談活動の理論及び方法	健康相談活動	3年前期		②	2
栄養学(食品学を含む)	栄養学(生化学を含む)	2年前期	2		2
解剖学及び生理学	人体の構造と機能	1年通年	3		2
微生物学、免疫学、薬理概論	微生物・免疫学	1年後期	2		2
	薬理・薬剤学	1年後期	2		
精神保健	小児看護学Ⅰ	2年後期	2		2
	精神看護学Ⅰ	2年後期	2		
看護学(臨床実習及び救急処置を含む)	看護学概論	1年前期	2		10
	基礎看護方法論Ⅰ	1年前期	1		
	基礎看護方法論Ⅱ	1年後期	1		
	基礎看護学実習Ⅰ	1年後期	1		
	基礎看護学実習Ⅱ	2年後期	2		
	成人看護学Ⅲ	3年前期	1		
	小児看護学Ⅱ	3年前期	2		

	母性看護学 I	2 年後期	2		
	在宅看護論 I	3 年前期	2		

付表D 教科または教職に関する科目

免許の種類	最低修得単位数	備考
養教一種免	7 単位以上	「教職に関する科目」(付表B) 及び「教科に関する科目」(付表C) の最低修得単位を超えて修得した単位を示す。

### ◆平成 31 年度以降入学生

○人間健康学部 看護学科 養護教諭の免許状取得に関する科目

「養護教諭一種免許状」(以下、「養教一種免」という。)  
「養護教諭二種免許状」(以下、「養教二種免」という。)  
を取得するためには、表①のように教育職員免許法等で規定された「資格」と「修得単位」を必要とします。

また、教育職員免許法施行規則第 66 条 6 に定める科目は、付表 A のとおりです。

表① 基礎資格及び修得すべき単位

免許の種類	基礎資格	最低修得単位数			
		教育職員免許法施行規則第 66 条 6 に定める科目	教職に関する科目	教科に関する科目	教科または教職に関する科目
養教二種免	保健師	8 単位 (付表A)	/		
養教一種免	学士の称号を有する	8 単位 (付表A)	21 単位以上 (付表B)	28 単位以上 (付表C)	7 単位以上 (付表D)

付表 A (教育職員免許法施行規則第 66 条 6 に定める科目)

科目	修得単位数	修得方法
日本国憲法	2	「憲法・人権論」(1 年前期・2 単位・必修) を必ず修得すること。
体育	2	「健康スポーツ」(1 年前期・2 単位・選択) を必ず修得すること。
外国語コミュニケーション	2	「エッセンシャルイングリッシュ」(1 年前期・1 単位・必修)、「アドバンストイングリッシュ」(1 年後期・1 単位・必修) を修得すること。
情報機器の操作	2	「情報処理演習」(1 年後期・1 単位・必修) は必ず修得すること。残り 1 単位は「情報処理の基礎」(1 年後期・2 単位・選択)「インターネットの使い方」(2 年前期・1 単位・選択) のうちから 1 科目を修得すること。

## 2) 単位の修得方法

教育職員免許法等で規定された「教職に関する科目」「教科に関する科目」及び「教科又は教職に関する科目」の単位の修得方法は、表②のとおりです。

表② 単位の修得方法

免許の種類	科目の区分	取得方法
養教一種免	教職に関する科目	付表Bにより修得すること
	教科に関する科目	付表Cにより修得すること
	教科又は教職に関する科目	付表Dにより修得すること

## 3) 教職に関する科目

教職に関する科目は、付表Bのとおりです。

付表B 教職に関する科目

\*全科目必修（卒業単位には含まれません）

科目区分	授業科目名	単位数	開講時期
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理*	2	1年後期
教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論*	2	1年前期
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育社会学*	2	2年後期
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	子どもの発達と学習*	2	2年前期
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論*	2	2年後期
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論*	2	1年後期
道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	特別活動論（道徳及び総合的な学習を含む）*	2	2年前期
教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術論*	2	2年前期
生徒指導の理論及び方法	生徒指導論*	2	2年前期
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談・カウンセリング*	2	1年後期
養護実習	養護実習指導*	1	3年前・後期
	養護実習*	4	3年前期
学校体験活動	学校体験活動*	1	1～2年前・後期
教職実践演習	教職実践演習（養護教諭）*	2	4年後期

4) 「養護」の教科に関する科目

「養護」の教科に関する科目は、付表 C のとおりです。

付表 C 「養護」の教科に関する科目

○選択科目であるが必ず修得すること

科目の区分	授業科目名	開講時期	必修単位	選択単位	最低修得単位数
衛生学及び公衆衛生学 (予防医学を含む)	公衆衛生学	2 年前期	2		4
	保健統計	2 年後期	2		
学校保健	学校保健	2 年前期		②	2
養護概説	養護概論	2 年後期		②	2
健康相談活動の理論及び方法	健康相談活動	2 年後期		②	2
栄養学 (食品学を含む)	栄養学 (生化学を含む)	2 年前期	2		2
解剖学及び生理学	人体の構造と機能	1 年通年	3		2
微生物学、免疫学、薬理概論	微生物・免疫学	1 年後期	2		2
	薬理・薬剤学	1 年後期	2		
精神保健	小児看護学 I	2 年後期	2		2
	精神看護学 I	2 年後期	2		
看護学 (臨床実習及び救急処置を含む)	看護学概論	1 年前期	2		10
	基礎看護方法論 I	1 年前期	1		
	基礎看護方法論 II	1 年後期	1		
	基礎看護学実習 I	1 年後期	1		
	基礎看護学実習 II	2 年後期	2		
	成人看護学 III	3 年前期	2		
	小児看護学 II	3 年前期	2		
	母性看護学 I	2 年後期	2		
	在宅看護論 I	3 年前期	2		

5) 教科又は教職に関する科目

教科または教職に関する科目は付表 D のとおりです。

付表 D 教科または教職に関する科目

免許の種類	最低修得単位数	備考
養教一種免	7 単位以上	「教職に関する科目」(付表 B) 及び「教科に関する科目」(付表 C) の最低修得単位を超えて修得した単位を示す。